

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成30年 2月 6日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	計算機監視項目警報において、「RHRポンプ(B)ループ圧力高」警報の発生遅れが認められたため、当該機器を点検・修理。	GⅢ	
2	1号機	換気空調系中央制御室給気処理装置(B)入口風量調節ダンパーにおいて、通常「開状態」であるべきところ、「閉状態」であることが認められたため、当該ダンパーを開度調整。	GⅢ	
3	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系収集タンク(D)液位検出器において、出力値不良(出力値のハンチング)が認められたため、当該液位検出器を点検・修理。	GⅢ	
4	その他	一次水処理設備純水装置(B)陽イオン樹脂塔再生用水配管流量指示計において、流量指示計(継手部とフロート(液位を測定する浮き)部)の隙間から純水の漏えいが認められたため、当該箇所を点検・修理。なお、流量計上流側の弁を閉じ、純水の漏えいは停止。	GⅢ	